

30 盛 議 号 外
平成 31 年 3 月 12 日

盛岡市議会議員 各位

盛岡市議会議長 天 沼 久 純

要望書について（私道洞清水生活道路（仮称）の市道路線認定を求める要望）

このことについて、次のとおり要望書が提出されましたので、お知らせします。

1 要望書提出者

盛岡市 [REDACTED]
洞清水町内会
会長 [REDACTED]

2 要望書 別紙のとおり

平成31年 3月 8日

盛岡市議会議長 天沼 久純 様

請願者 盛岡市
洞清水町内会
会長



私道洞清水生活道路（仮称）の市道路線認定を求める要望

要望の趣旨

盛岡市山岸の「プリムローズ洞清水団地」の北西端から婦人保護施設桐の苑までの私道約500メートルについて、次の理由により公の道路とすることを要望いたします。

要望の理由

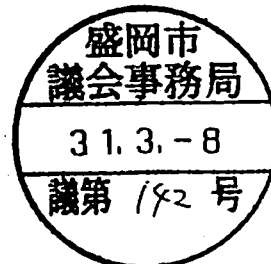
当該私道は、延長約500メートル（幅員4メートル）と極めて規模が大きく、市道路線認定にかかる申請事務を完遂するためには多額の経費と多くの時間を要するものと認識しております。

更に、当該事務が途中で頓挫した場合、それまで要した経費は申請者の負担にならざるを得ないと聞き及んでおります。

このような事情から、当該道路開設後30数年経て、今なお、公の道路としてのメドが立たず、当町内会としては、その経年劣化や冬期間の除雪などの維持管理に苦慮し、更には今後の災害時などにおける緊急車両の通行などに支障が出ることを心配しているところであります。

仄聞するところ、当該道路が公道として認定された場合、盛岡市に対し、毎年応分の地方交付税による手当が見込めるとのことでもあり、また、除雪、道路改良、災害復旧など公共事業の対象にもなり得るのではないかと思料しているものであります。

洞清水町内会としては、当該道路が一日も早く公の道路として誕生することにより、これら地域住民の不安が一掃され、地域内外との連携が一層促進されるとともに、県内唯一の婦人保護施設「桐の苑」が十分に機能することを切に願い、市道路線認定について特段のご配慮を要望するものであります。



道路管理

建設部道路管理課 019-626-7518

